

令和4年度（2022年度）交付
市民企画事業補助金
成果報告書



八王子市

令和5年（2023年）8月

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧	3
4	事業成果報告（成果報告書・収支決算書）	
(1)	お母さんお助けプロジェクト	5
(2)	コミュニティベンチ設置、居場所作りを広げる事業	9
(3)	多文化共生のための交流セミナー・イベント	13
(4)	若者の選挙行動への機運醸成事業	17
(5)	高齢化に伴う身体の特徴を導入したフレイル予防、介護予防運動の普及	21
(6)	つつじヶ丘緑地楽しめる場所づくり	25
(7)	子ども文庫でまちづくり	29
(8)	防災ジオラマを用いた防災教育：【川の博士と水害教室】	33
(9)	「歴史を刻む技と知恵～匠の世界を探る～宮大工吉川棟梁仕事展」	37
(10)	地域内での子ども服リユースシステム[Mottette(もってって)]の仕組み 作り	41
(11)	ペットおよび保護犬猫のためのフードバンク事業	45
(12)	子育て支援はママパパ支援！子育てを地域で支えるための親子の居場所 事業	49
5	交付団体連絡先一覧	53

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する公益的な事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の3部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、C事業連携部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業連携部門
内 容	既に公益的な活動に取り組んでいるが、活動基盤が整っていない団体や、これから公益的な活動に取り組もうとする団体の事業に要する経費を補助します。	活動基盤が一定程度整っている市民活動団体が、自立運営を目標に企画提案する事業や、さらなる事業の発展を見込むことができる事業の経費の一部を補助します。	既に主たる事業で自立運営をしている市民活動団体が、他の団体（活動分野が異なる団体※）と協力・連携することで、さらなる事業の発展を見込むことができる事業の実施経費の一部を補助します。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限50万円)	必要な経費の3分の2以内 (千円未満切り捨て、上限100万円)
計画段階の事業費	5万円以上	10万円以上	
補助回数	同一団体2回まで	同一区分における、同一事業に対して3回まで	

※ 活動分野が異なる団体との連携とは、例えば、子育て支援団体と農業支援団体が連携し、互いの長所を活かしながらより発展した新たな取組を行うこと等を想定しています。詳細につきましては、協働推進課までお問い合わせください。

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課及び事務局による書類審査を行う予備評価及び外部委員で構成される「市民企画事業補助金申請事業評価会議」による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション（「B 事業実施部門」及び「C 事業連携部門」）」や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門	C 事業連携部門
担当課による評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 八王子への貢献度 3. 計画性 4. 自立性	1. 政策合致性 2. 八王子への貢献度 3. 継続性 4. 発展性
評価会議による評価	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性	1. 公益性 2. 計画性 3. 相乗効果 4. 発展・継続性 5. 補助金交付の必要性

※ この概要は令和4年度（2022年度）交付対象事業についてのものです。最新情報については、市のホームページをご覧ください。

<市民企画事業補助金のホームページアドレス>

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>



補助金の概要

2 事業成果報告等の経過

〈1〉 公開プレゼンテーション

- 日 時 令和4年(2022年)4月9日(土) 12:30~16:00
- 場 所 生涯学習センター(クリエイトホール)11階 視聴覚室
- 実施方法 「Zoom」によるオンライン併用開催
- 参加団体 10団体
- 審査の一環として、B事業実施部門及びC事業連携部門に応募した全ての団体が、評価会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



〈2〉 成果報告会

- 日 時 令和5年(2023年)6月24日(土) 12:30~16:00
- 場 所 生涯学習センター(クリエイトホール)11階 視聴覚室
- 実施方法 評価会議委員出席により会場にて開催
- 参加団体 12団体
- 令和4年度(2022年度)に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 交付事業一覧

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額	補助金確定額
A 活動 支 援 部 門	新	お母さんお助けプロジェクト	152,705	100,000	100,000
	新	コミュニティベンチ設置、居場所作りを広げる事業	100,081	100,000	100,000
	新	多文化共生のための交流セミナー・イベント	101,705	100,000	100,000
	新	若者の選挙行動への機運醸成事業	103,266	100,000	100,000
		高齢化に伴う身体の特徴を導入したフレイル予防、 介護予防運動の普及	124,450	100,000	100,000
		つつじヶ丘緑地楽しめる場所づくり	171,304	100,000	100,000
		子ども文庫でまちづくり	61,075	60,000	60,000
	小計		814,586	660,000	660,000
B 事 業 実 施 部 門	新	防災ジオラマを用いた防災教育：【川の博士と水害 教室】	584,055	500,000	292,000
	新	「歴史を刻む技と知恵～匠の世界を探る～宮大工吉川 棟梁仕事展」	1,021,631	500,000	500,000
	新	地域内での子ども服リユースシステム[Mottette(もっ てって)]の仕組み作り	501,318	250,000	250,000
	新	ペットおよび保護犬猫のためのフードバンク事業	700,168	450,000	350,000
		子育て支援はママパパ支援！子育てを地域で支える ための親子の居場所事業	733,592	500,000	366,000
	小計		3,540,764	2,200,000	1,758,000
総計			4,355,350	2,860,000	2,418,000

4 事業成果報告

(成果報告書・収支決算書)

令和4年度（2022年度） 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	お母さんお助けプロジェクト		
団体名	虹色食堂		
事業費	152,705円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 入園、入学等新たな環境のスタートに際しての育児、家事への負担軽減。 孤立化している子育て支援。 余っている資源の有効活用。
	内容 各家庭で余っている布を寄付頂き、それを再使用して入園、入学グッズ（レッスンバック、シューズケース、体操着袋、防災頭巾カバー、お昼寝用カバー等）の製作代行

事業の活動実績	<p>【注文数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お昼寝用布団カバー 13セット（敷布団のみ 3） ●レッスンバック 3 ●シューズケース 2 ●巾着袋（大・小）9 ●スモッグ 3 ●エプロン・帽子 1 ●その他（布おむつ、ファスナー付け） <p>虹色食堂の Facebook での広報活動に加え、新たな広告活動として 子育て支援サイト『ぐるっとママ八王子』にこの事業の記事を載せて頂いた。 また、近隣保育園へのチラシ配布だけでなく、子ども家庭支援センター、地域子ども家庭支援センター（5か所）にチラシを置かせて頂きました。</p>
---------	---

新型コロナウイルス対策実績	製作グッズの送付を基本郵送とし接触機会を減らす方向でございましたが、ほとんどの方が取りに来られ、その際はマスク着用、アルコール消毒を徹底し、できる限り短い時間での対応を心掛けた。
---------------	---



【巾着袋セット】 【お昼寝用布団カバー】 【エプロン・帽子セット】 【レッスンバック・上履き袋】

事業の成果・効果	<p>今年度はまず活動を周知してもらう為にチラシを製作し、近隣保育園へのチラシ配布だけでなく、子ども家庭支援センター、地域子ども家庭支援センター（5か所）にチラシを置かせて頂いた。また、子育て支援サイト『ぐるっとママ八王子』に記事を載せた成果もあり、八王子市内の広範囲から製作依頼が増えた。</p> <p>また、ひとつひとつ丁寧に製作していることで保育園の先生方からの口コミ、一度依頼を頂いた方から転園の際の入園準備、その他の製作依頼、相談を受けこの事業のリピーターが増えていることもあり目標数に達した。</p> <p>忙しいワーキングママ、裁縫が苦手なお母さんからは本当に助かりますと感謝され日本語があまり分からない外国のお母さんからの依頼は直接お会いし、準備リストのプリントを見ながら細かく対応でき、困っているお母さんの手助けが出来、安心させてあげられたことも嬉しかったです。</p> <p>布の保管場所、製作場所を確保できたお陰で、ストックが製作できたり途中入園などもあり年間を通して依頼から製作、お渡しがスムーズにできた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた <input type="radio"/> 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった <input type="radio"/> 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	<input checked="" type="radio"/> 1 できた <input type="radio"/> 2 概ねできた <input type="radio"/> 3 あまりできなかった <input type="radio"/> 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input type="radio"/> 1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった <input type="radio"/> 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） ミシンの購入を考えていたが、中古ミシンを寄付頂いたので消耗品費が計画よりおさえる事ができた。 チラシ製作をデザインから依頼した為、印刷製本費が計画より多くかかった。
	その他、評価すべき点等	ひとつひとつ丁寧な対応を心がけていることが、安心と信頼に繋がり一度依頼頂いた方からのリピートが増えた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後もひとつひとつ丁寧にお母さんお助けプロジェクト継続し、リピーター、口コミを含め多くの子育て世代の方と繋がり、子育ての手助けツールのひとつとなるよう活動していく。また、保育園、幼稚園、小学校への広告活動を強化し、子育て支援をしている団体等と協力、連携イベント等に出店するなど八王子市内の広い範囲への広告活動を展開していきたい。</p>
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	お母さんお助けプロジェクト	
団体名	虹色食堂	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	製作場所・倉庫使用謝礼、製作謝礼、備品、チラシ 100,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 ()	入園・入学グッズ製作費 60,820
4	団体運営費からの繰入金	△ 8,115
5		
6		
合 計		152,705
支出の部		
1	消耗品費	布・糸・スナップ等 31,065
2	印刷製本費	チラシ製作費(デザイン・印刷代含む) 37,070
3	謝礼・報酬	製作場所、倉庫使用謝礼(5,000円/12ヶ月) 60,000
4	謝礼・報酬	尾上様製作謝礼 11,250
5	謝礼・報酬	神崎様製作謝礼 5,250
6	謝礼・報酬	橋本様製作謝礼 3,840
7	通信費	郵便(レターパック、ゆうパック代) 4,230
8		
9		
10		
合 計		152,705

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度（2022年度） 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	コミュニティベンチ設置、居場所作りを広げる事業		
団体名	コミュニティベンチまちづくり802		
事業費	100,081円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>高齢者に散歩、買物など外出を促すことで、コロナ禍の運動不足、コミュニケーション不足を解消しフレイル予防を推進、街中でホッと一息つける居場所を提供する。子育て世代には同世代、高齢者、近所の人々との交流の場を提供し子育てしやすい環境を提供する。</p>
	<p>内容</p> <p>高齢者、子育て世代等が自由に座れ、居場所となるベンチ等を八王子市内のニーズに合わせ設置し、その数を増やす。</p> <p>さらに、設置したベンチの場所をインターネットやポスター、チラシ等で告知し、コミュニティベンチの効果、有効性、大きなメリットを広報する。</p> <p>また、コミュニティベンチ等の設置を計画する団体等に情報提供等、協力、連動する。</p>

事業の活動実績	<p>①こどもの集まる駄菓子屋さん『よってって』（八王子市子安町4-28-8）にベンチを設置し集まる子どもや保護者たちのコミュニケーション作りに役立てた。</p> <p>②富士森公園近くのパン屋さん『パンドラ』（八王子市台町1-26-13）にベンチを設置し、散歩や買い物する高齢者や子育て世代の方々にコミュニケーション作り、休める場所を提供できた。</p> <p>③東雲町会館（八王子市散田町1-6）内に玄関イスを設置し、「玄関椅子を使うと、安全に立ち上がりやすい高さで靴を履き替えられる」と好評を得た。ちなみに東雲町会は250世帯で高齢者が多いのが実情である。</p> <p>④山田町会館（八王子市散田町1-6）内に玄関イスを設置した。</p>
---------	---

新型コロナウイルス対策実績	<p>相互接触の機会を減らすとともに対面での会話や飲食を避ける。</p> <p>マスク着用の奨励。三密を避け、ソーシャルディスタンスを厳守する。</p> <p>打合せや集会の際は、体温測定を行い追跡調査を可能にする。</p> <p>大声での会話の制限を要請する。</p> <p>関連団体が定める新型コロナウイルス感染拡大防止対策を守る。</p> <p>など。</p>
---------------	---

事業の様子または成果がわかる写真①
子どもや子育て世代が集まる駄菓子屋『よってって』（子安町4-28-8）横にベンチ設置。



事業の様子または成果がわかる写真②
散歩する高齢者が多い富士森公園付近のパン屋さん『パンドラ』（台町1-26-13）横にベンチ設置。



事業の成果・効果	<p>コミュニティベンチを設置することが多くの成果を生むと社会にアピールする。地域活動の有効性を広く社会に伝える。</p> <p>高齢者が安心、安全に楽しく生きがいと誇りをもって暮らせるまちづくりに貢献する。子育てに力を入れているまち、子育てしやすいまちづくりに貢献する</p> <p>①シンボルマークを作ることにより、デザインの統一を図ることができた。</p> <p>②NPO 法人小津クラブと連帯し、間伐材の利用ができた。</p> <p>③ベンチ設置場所提供者から今後の活動に関する貴重な意見を多く聞いた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった	主な理由 (3、4と答えた場合のみ)				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった	主な理由 (3、4と答えた場合のみ)				
		効果を表す指標	ベンチ設置数	本年度目標値	3個	本年度実績値	4個
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している	主な理由 (2、3と答えた場合のみ)				
その他、評価すべき点等	<p>①シンボルマークを作ることにより、デザインの統一を図ることができた。</p> <p>②NPO 法人小津クラブと連帯し、間伐材の利用ができた。</p> <p>③ベンチ設置場所提供者から今後の活動に関する貴重な意見を多く聞いた。</p>						

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>①これまで、ベンチを4つ設置した実績を告知することで、さらにベンチの設置個数を増加する。</p> <p>②NPO 法人小津クラブと NPO 法人木馬工房と連帯し、間伐材を利用し就労継続支援 B 型事業所の応援をした実績をもとに、このような市民活動団体との連携や相互理解を深め活動を活発にしていく。</p> <p>③八王子にいくつかあるベンチ設置活動団体と連携し、効率的にベンチ設置場所を増やしていく。</p> <p>④インターネット、SNS、ホームページ、チラシなどを活用し募金や寄付を募り、活動資金を増やす。</p> <p>⑤ベンチに広告を掲載するなど会社や企業と連携して資金援助の道を切り開く。</p>
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	コミュニティベンチ設置、居場所作りを広げる事業		
団体名	コミュニティベンチまちづくり802		
項目	内容・内訳	決算額(円)	
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	100,000	
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ()		
4	団体運営費からの繰入金	81	
5			
6			
合 計		100,081	
支出の部			
1	消耗品費	ラミネート、結束バンド、インク、領収書	27,668
2	印刷製本費	コミュニティベンチQRカード	1,650
3	謝礼・報酬	イス・イス材料の運搬、イスの設計・組立への謝礼・報酬	19,000
4	会場借上料・使用料		
5	交通費	別添明細書のとおり	12,700
6	通信費		
7	ベンチ、備品購入費	ベンチ3台、エントランスイス2台、子供用イス10台 八王子産の間伐材代(ベンチ作製材料)	27,263
8	保険料	保険代	6,800
9	役務費	イスの組立	5,000
10			
合 計			100,081

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度（2022年度） 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	多文化共生のための交流セミナー・イベント		
団体名	Matsugaya Culture Space（松が谷カルチャースペース）		
事業費	101,705円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的：近年、多摩センター地域は、様々な国を出身地とする多様な人々の暮らす地域となっており、異文化を学ぶ上では多様な人的資源のある地域である。しかしながら、これまでに、文化の異なる人々が交流する機会は限られてきた。また、言語の問題等により、文化の異なる人びとの間の活発な交流は難しい状況にある。さらに、日本語を母語としない人びとにとって、日本社会で生活をしていく上で、日本語の読み書きは必須であるが、漢字が障壁となり、生活にも支障をきたしているという問題がある。多様な人々が交流するセミナー・イベントを通して、このような課題を解決することが目的である。</p>
	<p>内容：2022年7月にオープンする多摩ニュータウン内の交流拠点「コミュニティプレイス まつまる」にて、異文化交流のためのセミナー・イベントを開催する。具体的には、「MAKING FRIENDS IN ENGLISH 英会話で友達を作ろう！」「外国につながる子どもと保護者のサポートデスク」「文化交流クッキングクラス」「文化交流セミナー『異文化を学ぶ』」などを実施する。</p>

事業の活動実績	<p>【実施した文化交流セミナー】 事業の詳細については別紙参照 9月4日（日）地域に暮らす人から多様な文化を知ろう！「ベトナムの茶タイム」 12月10日（土） MAKING FRIENDS IN ENGLISH 英会話で友達を作ろう！第1回 1月14日（土） MAKING FRIENDS IN ENGLISH 英会話で友達を作ろう！第2回 2月5日（日）異文化を知ろう！セミナー ～ネパール編～ 2月18日（土） MAKING FRIENDS IN ENGLISH 英会話で友達を作ろう！第3回 【事業実施のために開催したミーティング】 4月23日（土）、6月5日（日）、7月10日（日）、9月4日（日）、10月9日（日）、11月29日（火）、12月10日（土）、1月14日（土）、2月18日（土）</p>
新型コロナウイルス感染症対策実績	<p>コロナウィルスの感染症対策については、事業実施時期の感染状況に応じて柔軟に対応した。具体的には、当初、9月にクッキングクラスの実施を予定していたが、感染防止の観点から、調理を取りやめ、ベトナムのお茶菓子を試食してもらうなど、予定していた内容を変更した。各イベントの前後には、テーブルなど、手の触れるところのアルコール消毒を行った。参加者どうしの間隔が密にならないよう配慮した。イベントの実施時には、体温測定を実施すると共に、アルコール消毒を徹底した。また、イベント時のお茶やお茶菓子の試食の際も、感染症対策のため、使い捨てのコップや皿を用意した。常に感染症対策に最大限の注意を払い、事業を実施した。</p>

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>文化の異なる人々が交流し、互いの文化に関心を持つという目的については、本事業の活動を通して、成果が見られつつある。これまでのイベントに参加した方々は、延べ人数 63 名である。それぞれが、地域に暮らす人々の国について話を聞くことで、さらにその国のことを知りたいとの関心が増すとともに、その国以外の国への関心にもつながっているようである。実際に、「今回は第 1 弾で、次の話も聞きたい」との要望も上がっている。</p> <p>英語の学習を通じたコミュニケーションについても、毎回 8 名の参加者が集まっており、松が谷・鹿島地域の人々の外国語への関心が高いこともわかった。</p> <p>本事業を通して、松が谷・鹿島地域には、外国在住経験を持つ人が少ないこともわかってきた。また、異文化のみならず、様々な経験（例えば、企業の駐在員として欧米で暮らしていた、アジアの人々と仕事で接する機会が多い等）を持つ人がいることもわかった。今後は、こうした様々な経験を語ってもらう機会を設けていくことも、地域の人々どうしが交流を促す上で、貴重な場となることが予測される。</p> <p>一方で、課題も見えてきた。すなわち、参加者によっては、海外在住経験者もあり、内容についても知識を持っている人もいる一方で、初めて参加し、事前の知識をもっていない人がいるなど、参加者の背景は多様である。初めての参加であっても、事前の知識がなくとも、「つらい思い」を感じないように、主催者側の配慮がもっと必要だと感じている。</p> <p>また、広報活動も十分にできなかった。特に、松が谷・鹿島地域の方々へのアピールが不足していた。今後は、SNS などを通じて、事業を周知するとともに、本会の活動の様子も積極的に発信していきたい。</p> <p>今年度、実施することができたイベントは 5 回であった。徐々に参加者も増えつつあるが、まだまだ足りないと感じている。マンパワーの問題もあり、すぐに事業の回数を増やすことは難しいが、本事業で培った経験や繋がりをいかしながら、異文化交流の場を定期的に提供していきたい。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）						
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった					
	主な理由（3、4と答えた場合のみ）						
	<table border="1"> <tr> <td>効果を表す指標</td> <td>参加者アンケートにより、セミナー参加者の満足度を指標として用いる。</td> <td>本年度目標値</td> <td>満足と感じている人の比率が 50% 以上</td> <td>本年度実績値</td> <td>「満足」「やや満足」と回答した人は 94%だった。</td> </tr> </table>	効果を表す指標	参加者アンケートにより、セミナー参加者の満足度を指標として用いる。	本年度目標値	満足と感じている人の比率が 50% 以上	本年度実績値	「満足」「やや満足」と回答した人は 94%だった。
効果を表す指標	参加者アンケートにより、セミナー参加者の満足度を指標として用いる。	本年度目標値	満足と感じている人の比率が 50% 以上	本年度実績値	「満足」「やや満足」と回答した人は 94%だった。		
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している						
主な理由（2、3と答えた場合のみ）							
収入はほぼ計画した通りであった。支出については、会場使用料が当初予算の 25%程度であったが、実施内容を充実させるために複数の講師に来ていただいたため、謝礼・報酬費が増額となった。また、フライヤー配布による広報活動よりも、SNS 等を使った広報活動に力を入れたため、印刷製本費も減額となった。							
その他、評価すべき点等							

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>本事業で培った経験や繋がりをいかしながら、今年度も、異文化交流の場を定期的に提供するとともに、本事業の関心のある仲間を増やしていく予定である。</p>
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	多文化共生のための交流セミナー・イベント	
団体名	Matsugaya Culture Space (松が谷カルチャースペース)	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	八王子市助成金 100,000
2	寄付金	寄付(ベトナムティーセミナー600円、ネパールセミナー8,400円) 9,000
3	事業による収入 (参加費)	ベトナムティーセミナー参加費(大人)@300円×5人=1,500円、ベトナムティーセミナー参加費(中学生)@100円×1人=100円、英語クラス(12月10日)参加費@500円×2人=1,000円、英語クラス(1月14日)参加費@500円×3人=1,500円、英語クラス参加費(2月18日)@500円×3人=1,500円 5,600
4	団体運営費からの繰入金	 -12,895
5		
6		
合 計		101,705
支出の部		
1	消耗品費	プリンターインク代(3,200円)、消毒スプレー・ティッシュ代(973円)、体温計(2,980円)、バインダー(304円)他 17,773
2	印刷製本費	フライヤー印刷発注費(7月29日1,431円、1月18日3,490円)、コピー代(合計1,940円)他 6,861
3	謝礼・報酬	ベトナムティーセミナー講師代 6,000円 他 33,000
4	会場借上料・使用料	6月5日由木東市民センター 会場使用料 他 10,800
5	交通費	別添明細書のとおり 3,120
6	通信費	郵送代(370円)他 880
7	備品購入費	プロジェクター・スクリーン・テレコムタップ(21,291円)他 29,271
8		
9		
10		
合 計		101,705

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。

※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度（2022年度） 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	若者の選挙行動への機運醸成事業		
団体名	特定非営利活動法人 ミツバチラボ		
事業費	103,266円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的：将来のまちづくり、活性化に欠かせない、若者の定住や地域参加への関心高めることに焦点をあて、選挙行動の機運醸成を図る。我々の団体と関係性の深い、情報発信力の強い方々からアプローチをすることで選挙投票率の低迷、特に若者の選挙投票率向上を図る。
	内容：「明るい選挙推進協会」や若年層を取材、選挙投票の意義や八王子の未来を若者が担っていく大切さなどを八王子ゆかりのアーティストが SNS 等で発信。また、選挙投票済証での飲食店等割引実施（令和4年5月の市議会議員選挙投票率向上を目標）に向け、PR 活動を行う。

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年6月実施の参議院選挙の関心向上のため、八王子ゆかりのアーティストと協働し、SNSを活用した選挙参加促進投稿を発信 ●八王子ゆかりのアーティストと「明るい選挙推進協議会」会長との対談内容をSNS発信 ●八王子ゆかりのアーティスト・「明るい選挙推進協議会」メンバーとの座談会を開催（動画発信） ●若年層を対象に、選挙に対する意識についてアンケート調査を実施 ●令和5年4月実施の市議会選挙時の投票済証提示による店舗割引イベントにむけPR活動を実施（イベントは期日前投票期間・投票日・投票日後1週間に実施予定）。
---------	--

新型コロナウイルス対策実績	イベント出店によるPR時、対談取材時、動画撮影時などは、消毒・検温を徹底し、また、取材及び撮影時には当日の参加者の体調について、ヒアリングを行うなど、事前の体調確認を徹底した上で実施した。
---------------	--

事業の様子または成果がわかる写真①



イベント時のチラシ配布

事業の様子または成果がわかる写真②



選挙をテーマにした座談会の開催

事業の成果・効果	<p>●他自治体においても一般団体等などによる投票済証を活用した割引サービスの取り組みが増加しているなか、決して特定の政治団体や投票者を支援するものではなく、あくまでも選挙参加の意識醸成を目的とする本事業についても、八王子市選挙管理委員会等に事業主旨をご理解いただくことができた。</p> <p>市議会議員選挙（2023年4月）時は、試行的な小規模の実施にはなるものの、投票済証の提示により、特定の店舗利用時にノベルティをプレゼントする企画を実施する予定である。</p> <p>●日頃から選挙参加の向上の広報PRを実施されている明るい選挙推進協議会の方々との協働により、その活動をご存知ない方にも発信することができ、また、取材や動画撮影は多世代交流の場ともなり、市民活動の推進につながった。</p> <p>●八王子に在住し、八王子の魅力をその発信力を活かして広めているアーティストの皆様のご協力により、選挙参加のみならず、八王子（地域）への愛着を高める取り組みにもなった。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="checkbox"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 2 概ねできた <input checked="" type="checkbox"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）：恒常的な実施より、開催される選挙の特色を踏まえ、投票期間の直前でPRを行うことがより効果的と判断したため、今年度については、補助金交付決定直後（R4.7月）の選挙時はPR活動やSNS発信にとどめ、R5.4月実施の市議会選挙に事業の焦点をあてたため、報告時点では、効果指標で測ることができない。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="checkbox"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 取材・動画参加者への報酬や撮影費用等は、参加する方からの団体や本事業への賛同やご理解をいただいた結果、予算見込時より安価な謝礼等でお引き受けいただけたため、当初見込んでいた予算よりも大幅に縮小することが可能となった。
	その他、評価すべき点等	選挙に係る広報活動に加え、10代～30代の若年層から意見収集（アンケート調査）できたことや、多世代（20代～70代）での対談や動画撮影を実施したことにより、世代間交流の場を生み出すことができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後は、選挙日程を踏まえ、効果的なPRにつながるスケジュール構築のうえ、各選挙の特色を踏まえ広報（企画）内容を検討する。</p> <p>なお、投票済証によるサービス企画については、今回（市議会議員選挙）は試行的な規模となる予定であるが、今後規模を拡大し、事業に賛同する協賛店舗の確保に努める。</p>
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	若者の選挙行動への機運醸成事業		
団体名	特定非営利活動法人 ミツバチラボ		
項目	内容・内訳	決算額(円)	
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	100,000	
2	団体運営費からの繰入金	3,266	
3			
4			
5			
6			
合 計			103,266
支出の部			
1	印刷製本費	ノベルティステッカー印刷費	4,326
2	謝礼・報酬	取材対応謝礼・動画出演謝礼・動画制作協力謝礼	91,000
3	会場等使用料	動画撮影会場費	7,500
4	手数料	振込手数料	440
5			
6			
7			
8			
9			
10			
合 計			103,266

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

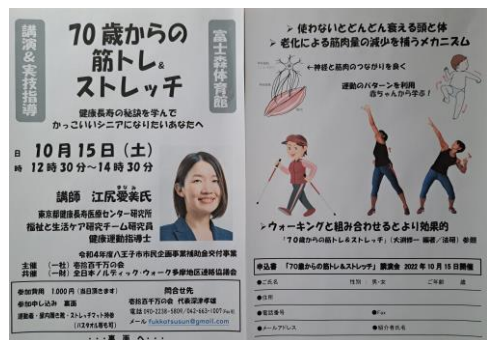
事業名	高齢化に伴う身体の特徴を導入したフレイル予防、介護予防運動の普及		
団体名	一般社団法人 壱拾百千万の会		
事業費	124,450円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 団体の設立趣旨は「高齢者が人生最期まで心身の健康を豊かにすることに関心を持ち、その実現に向かって互助互譲の精神での活動を地域に普及させることを目的にする。」であり、その趣意に副った大淵修一氏著「70歳からの筋トレ&ストレッチ」から学び、人生100歳時代の健康な身体・心づくりを充実させて、生涯を楽しむ生き方を広める。
	内容 講演会当初予定は著者の実技公演・指導であったが、著者の都合により江尻愛美氏へ変更。江尻氏は全国各地自治体の要請で高齢者健康体操の創案、指導も手掛けており適材であった。

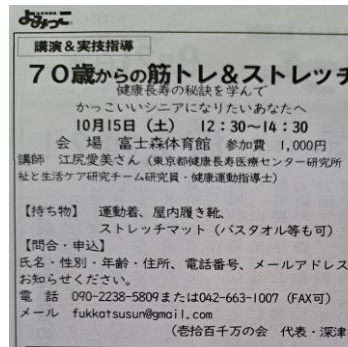
事業の活動実績	「70歳からの筋トレ&ストレッチ」の講演会に関して 事業目標参加人数100名を達成すべく @市の公的機関へのポスター掲示（添付1）、地域紙へ広報（添付2）。知己ネットワークでの働きかけを実施 @30名の参加者には健常者に加えて歩行障害のある方もおり、それぞれの体力に応じての筋トレ&ストレッチとなった（添付3）。終了時のアンケートには参加者30名中の26名が回答してくれて、その結果がすべてを物語っていると思う。アンケート結果を次項「事業の成果・効果」で記述。 @高齢者安心相談センター3事業所の協賛・支援を受けた。
---------	--

新型コロナウイルス対策実績	①講演会では会場が広く（体育館メインフロア全面を使用）、会場の換気も良好、受け入れに当たって消毒、注意喚起、参加者の意識も高くスムーズな運営で、特に心配事項はなかった。 ②ノルディックウォーキングは屋外での活動であり、マスクの着用・不使用は適宜行った。
---------------	---

添付1 公的機関掲示ポスター(A3)



添付2 参加人員募集の案内「よみっこ」（読売新聞系地域紙）



添付3 講演会取材記事



事業の成果・効果	<p>前項「事業内容」「事業活動実績」の項目と対応させて記述</p> <p>(1) 参加者からの終了後アンケートで高評価を獲得。主な事項は次の通り。</p> <p>①全体の評価：回答者全員が「良かった」と回答</p> <p>②学んだことを継続して取組み意向の有無：「ある」の回答者 92%。</p> <p>③継続してのトレーニングに当たって「自分で出来るか心配」、「DVDはないでしょうか？」等の意見が出た。これらの意見に対応すべく<録画動画>を編集。しかし、録画動画の活用が江尻氏の了解を得られず実施できなかった。</p> <p>④安心相談センターの方とも交流出来、「無理をしないように」とのお言葉を頂きました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった			
		主な理由 (3、4と答えた場合のみ)			
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった			
	(応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">効果を表す指標</td> <td style="width: 25%;">参加人数 100人</td> <td style="width: 25%;">本年度目標値 100人</td> <td style="width: 25%;">本年度実績値 30人</td> </tr> </table>	効果を表す指標	参加人数 100人	本年度目標値 100人
効果を表す指標	参加人数 100人	本年度目標値 100人	本年度実績値 30人		
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>参加人数未達への今後への課題</p> <p>①計画時点での希望実施場所はエスフォルタアリーナ八王子であったが、先約があり富士森体育館となった。</p> <p>計画人員が未達の主な要因は交通の便であったと思う。</p> <p>土日のエスフォルタアリーナ八王子使用に当たっては少なくとも2年前からの計画が不可欠であり、今後の課題としたい。</p>				
その他、評価すべき点等	高齢者安心相談センター3 事業所の協賛・支援を受けたことによって、運動実践時に、運動に障害のある方へのフォローが行届いたことは該当参加者の安心感に効果的であった。				

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>高齢者の心身の健康を増進、社会参加活動に活性化に向けて</p> <p>①身体健康度向上：</p> <p>本年度事業「70歳からの筋トレ&ストレッチ」を従来から展開している次のメニューに取り入れ質の向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルディックウォーキング・筋トレ&ストレッチ (セラバンドトレーニングの実施も検討) <p>②心の健康度向上：</p> <p>従来から展開している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<絵本でワイガヤ>では 認知症の方を対象にしての<アルバム自分史作成>を導入する ・これは当該者の回想療法の観点からも期待が見込まれると思料する。 <p>③社会参加活動の向上：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の「情報格差」解消に向けてのスマホ活用 <p>以上事業展開を介して会員の増員による事業収入の増大を図る。</p>
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	高齢化に伴う身体の特徴を導入したフレイル予防、介護予防運動の普及	
団体名	一般社団法人 壱拾百千万の会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	100,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 ()	30,000
4	団体運営費からの繰入金	-15,372
5	寄付金	9,822
6		
合 計		124,450
支出の部		
1	消耗品費	39,890
2	印刷製本費	
3	謝礼・報酬	53,000
4	会場借上料・使用料	9,600
5	交通費	3,876
6	通信費	2,144
7	備品	14,940
8	広報宣伝費	1,000
9		
10		
合 計		124,450

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度（2022年度） 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	つつじヶ丘緑地楽しめる場所づくり		
団体名	つつじヶ丘自治会 グリーンチーム		
事業費	171,304円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 「つつじヶ丘緑地」は「桜」と「もみじ」の低木以外は一面「草っ原」の状態でありましたので「つつじヶ丘自治会」の有志が「グリーンチーム」を立ち上げ、南北に分かれた「緑地」に少しでも草花を咲かせ、花木を植えて緑地を通る人たちの憩いの散歩道となることを目的としています。
	内容 雑草地の開墾作業、花壇部分の造成作業 樹木剪定、用地内の草刈り、保全作業等。

事業の活動実績	作業記録を別紙添付 〈つつじヶ丘自治会グリーンチーム 作業記録誌〉 作業日報（2022年4月～2023年3月） 述べ 102日 422人 24,260時間 毎週月曜日と金曜日を定期作業日として実施
---------	---

新型コロナウイルス対策実績	① 作業前に体調確認、体温の確認 ② 作業中のマスク着用 ③ 作業中の密度、会話、接触の注視
---------------	--



昨年秋に差し芽した「芝桜」



芝桜を植える前の造成地

事業の成果・効果	<p>つつじヶ丘緑地の花壇づくり作業が2年目に入りました。 計画区域 64 m²の 20%を雑草と小石を除き芝桜約 1100 株を植え込み5月には、美しい花園に育ちました。</p> <p>チューリップ畑、キバナコスモスの丘、12月にはビオラの植え込み、草取り、立木の剪定、水やり、落葉処理（腐葉土作り）</p> <p>捕植等の作業を継続しています。</p> <p>緑地中央北側を石段（204 段）の通路が走り、花壇の完成と同時に、散歩に訪れる人、憩う人が増加しています。</p> <p>現在3年目の花壇予定地（112 m²）の芝桜の準備作業中です。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった	主な理由（3、4と答えた場合のみ）				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった	主な理由（3、4と答えた場合のみ）				
		効果を表す指標	花壇造成・整備作業 4か所・321 m ² 他	本年度目標値	64 m ² 20%	本年度実績値	145 m ² 45%
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している	主な理由（2、3と答えた場合のみ）				
その他、評価すべき点等	今年度（2年目）は3月より芝桜の苗を準備し、植え込みも順調に行い、美しく一面の開花を観る事が出来た。						

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>2年目の花壇造成工事の完成・苗の植え込みも完了。 維持管理、作業を行い、更に新しい苗代、肥料等の購入が必要となる。</p> <p>今年度（令和5年）は、3年目（112 m²）の花壇（急斜面）の造成工事を行う。</p>
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	つつじヶ丘緑地楽しめる場所づくり	
団体名	つつじヶ丘自治会グリーンチーム	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	100,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 ()	
4	団体運営費からの繰入金	71,304
5		
6		
合 計		171,304
支出の部		
1	消耗品費 (腐葉土、花苗代、インク代、明細書添付)	168,835
2	印刷製本費	
3	謝礼・報酬	
4	会場借上料・使用料	
5	交通費	
6	通信費	
7	備品購入費 水平器	2,469
8		
9		
10		
合 計		171,304

※ あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
 ※ 領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度（2022年度） 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子ども文庫でまちづくり		
団体名	西武北野台子ども文庫		
事業費	61,075 円	補助金額	60,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>文庫の存在を知らない住民にも利用を拡大するべくポスターやチラシの作成を行う。自治会の掲示板は掲示期間が2週間なので、学校へのポスター掲示と、近隣の幼児・小学生対象にチラシを学校から配布してもらう。</p>
	<p>内容</p> <p>子どもたちが気軽に本を探しに来る場所として定着している文庫だが、昨年来コロナ禍の様々な対策を取って活動を継続していることを住民、特に子どもたちやその保護者に伝えきれずにいた。自治会広報と文庫のHPでの広報活動だけでは不十分なため、ポスターとチラシを作成する。孫のためや小学校での読み聞かせに利用するという高齢者もあり、世代間の交流のきっかけづくりとしたい。</p>

事業の活動実績	<p>A4 1000枚、A3 30枚、A2 10枚で、5万円（税込）</p> <p>A4:中山小 110/片倉台小 300/高嶺小 310/サンライズ幼稚園 120/自治会回覧、利用者手渡し</p> <p>A3:世話人宅門前に掲示</p> <p>A2:小学校、幼稚園、自治会館に掲示</p> <p>補助金で作成したチラシポスターを活用した。</p>
---------	--

新型コロナウイルス対策実績	<p>開庫日の活動では、自治会館のルールに従い人数制限や消毒を行った。</p> <p>工作など、集まって行う作業は子どもたちが近づきすぎないように配慮、換気にも努めた。</p>
---------------	--



門扉の前にラミネートして掲示



右：クリスマスイベント。

下：3種類の大きさの印刷物で、掲示・チラシなどに活用。



12月21日も素敵な科学工作。虹色の万華鏡です。クリスマスカラーのイルミネーションが自分だけのものに！



事業の成果・効果	<p>これまでも子どもの本の貸出や工作などは行っていたが「住民に十分情報が伝わっていなかったのでは」という反省もあり、広報活動に特化した事業とした。他に自治会のポスターや広報紙に活動のお知らせを掲載してもらうなど、地域の活動としての情報発信にも努めた結果、幼児や祖父母に当たる方の利用が増えた。</p> <p>幼稚園でチラシをもらったという方、自治会の赤ちゃん広場でチラシをもらったという方が新たな利用者となった。文庫で顔を見て「あ、一緒に幼稚園だね！」と人のつながりが広がるなど、当初の目的は達成できた。</p> <p>また、この事業とは直接関係ないが、子どもたちに科学工作の指導をしてくださる地域の方がみつきり、活動にも幅ができて利用者増につながっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の蔓延により自治会の行事が中止になるなど、十分な活動ができない環境の中で、補助金事業の効果は大きかった。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 2 概ねできた ③ あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ) 新たな利用者の増加に手ごたえはあったが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策で会館利用の人数制限が継続していたため大幅な利用者増にはつながらなかった。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	「子ども文庫でまちづくり」とした事業名にふさわしく、チラシ配布で地域の方とのつながりが増え、「こんな本を入れてほしい」「赤ちゃん向けのイベントを」など、声も寄せて頂けた。本の貸し借りだけでなく、人のつながりに役立つ活動ができた。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>地域の中では赤ちゃんから就学前の子どもを持つ保護者の方のニーズが多いことが分かったので、お話し会などのイベントを増やして利用者の拡大につなげたい。今年度の事業展開はその足掛かりになった。</p>
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	子ども文庫でまちづくり	
団体名	西武北野台子ども文庫	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	60,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 ()	
4	団体運営費からの繰入金	1,075
5		
6		
合 計		61,075
支出の部		
1	消耗品費	
2	印刷製本費	60,855
	子ども文庫チラシ(A4)とポスター(A3/A2)、クリスマスイベ ントチラシ/ラミネートフィルム(ポスター用)	
3	謝礼・報酬	
4	会場借上料・使用料	
5	交通費	
6	通信費	
7		
8	その他	220
	振込手数料	
9		
10		
合 計		61,075

あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度（2022年度） 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	防災ジオラマを用いた防災教育：【川の博士と水害教室】		
団体名	NPO 法人防災・災害ボランティアかわせみ		
事業費	584,055 円	補助金額	292,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>気候変動による災害の激甚化もあり、防災教育の重要性は高まっている。高校生も総合地理のなかで防災を学ぶこととなっている。防災ジオラマを用いて、防災を楽しみながら、工学博士による体験型で高度な防災教室を市内、小中高の子供たちに広めたい。</p>
	<p>内容</p> <p>段ボール防災ジオラマ作成キット（防災ジオラマ推進ネットワーク委託）により、【地形を作り、知り、自分事として考える】体験型防災教室を行う。講師は当法人代表谷岡（河川工学博士、技術士、地区防災計画学会、内閣府運営 TEAM 防災ジャパン）が行う。防災ジオラマは、仮止めスプレーで重ねることにより、その段ボール枠に戻せば何度でも用いられ、様々な目的で活用できる。</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールジオラマ作成キットの発注（防災ジオラマ推進ネットワーク） ・集客チラシの作成、印刷、配布、掲示、他 SNS での発信など（延期により2度） ・水害教室の PPT 資料作成、 ・内水危険区域解析、ハザードマップデータの最大浸水深の変換（Shp ファイル QGIS） ・イベント準備（仮止めスプレー等、水害教室で用いる文具等購入、イベントスタッフ募集） ・水害教室開催（8/20 10/16 に変更）参加者：子供～大人まで計 35 名 ・イベントの様子は、ホームページブログ https://bit.ly/3E7xHc4 に掲載 ・防災ジオラマ活用・協働団体募集チラシ作成、配布（協働推進課・教育政策課、防災課、生涯学習政策課、自治会町会連合会、市民活動支援センター、他 SNS、ホームページ受付用サイト更新）
新型コロナウイルス対策ウイ績ル	<p>当初予定、準備した開催時期（夏休みの自由研究として 8/20）が、コロナ渦第7波の感染者数増加の傾向があったため、2か月後の 10/16 に延期した。結果として、第7波の低減期から、第8波の始まる前の時期にイベントが実施出来た。（集客作業、伴う経費は2度手間となり、子ども達にとっては、夏休みの自由研究と出来なくなり好機を逸し参加者も減った）</p> <p>イベント開始時に検温、手指消毒、参加者のコロナ感染発生時の緊急連絡先の確認を行い、イベント開催中は常に会場換気を頻繁に行った。また4ブロックに分担し、密を避けた。</p>

事業の様子または成果がわかる写真



事業の様子または成果がわかる写真



事業の成果・効果	<p>楽しく地形、防災を学ぶ、防災教室ができた。(参加者、子供～大人まで、35名) 子供から大人まで協力して、楽しんで防災ジオラマを作ること、地形と災害の関連を実感し、住まいのある地区の災害を自分事とする水害教室ができたと考える。アンケートでも、記載のある方全てが「ちょっと難しかったが楽しかった」との回答を得た。</p> <p>防災ジオラマ(段ボール防災ジオラマ作成キット)を得る事が出来、今後の活用、他団体との協働のきっかけを得られた。早速、来年度のNPO法人八王子国際協会での防災研修会でのオファーが来ている。</p> <p>協働推進課、防災課、教育指導課、生涯学習政策課、町会自治会連合会、市民活動支援センター等、防災ジオラマの様々な活用の案内、相談が出来た。</p> <p>地域コミュニティ【はちそな会(はちおうじ災害に備える会)】(八王子市地域助け合い・社会参加応援団体登録)を立ち上げ、協働する事で、今後とも八王子の安全・安心まちづくりに資する活動の連携・協働体制を築くことが出来た。</p> <p>今後の課題：プロジェクトマップを予定し、内水氾濫等危険箇所解析、最大浸水深データの変換作業、ほか画像を用意したが、4ブロックの台座を作成するも、ジオラマの段数が多く、重量が大きくなり立て掛ける事が出来ず、スクリーンにQGISで、拡大・スクロールをして、細かな地区の水害危険区域を解説する事とした。台座の強化が課題である。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)				
		効果を表す指標	参加者数 アンケート結果 多目的活用	本年度目標値	50名 良かった80% 教育委員会へ	本年度実績値 35名 80% 他NPO出展決定
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) ・イベント開催時期を新型コロナウイルス感染状況により、夏休みから10月に延期、集客、事務作業が2度手間になった。 ・夏休み自由研究の時期を逸し、運動会、文化祭の時期と重なり、参加費を無料とするも参加者数も減った感がある。				
その他、評価すべき点等	子ども達だけでなく、大人も興味を持って参加頂いた。 「楽しく勉強できた。」「友達にも伝えたい」などの意見を頂いた。					

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>八王子市全域の防災ジオラマの活用・協働団体を募り、より多くの市民、子供たちへ活動を広め、安全・安心まちづくりに活用したいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災学習(学校、PTA、自治会、自治体、研究機関、行政、放課後学習、NPO) ・まちづくり(商工会、観光協会、まちづくり協議会、自治会) ・歴史・環境学習(文教施設、学校、NPO、自治体) <p>また、今後の助成・補助金申請を行い、八王子のシンボルといえる高尾山頂まで山地部を載せて(約30万円)流域・集水区の概念を学べる魅力ある防災ジオラマとしたい。</p>
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	防災ジオラマを用いた防災教育：【川の博士と水害教室】		
団体名	NPO法人防災・災害ボランティアかわせみ		
項目	内容・内訳	決算額（円）	
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	段ボール防災ジオラマ作成キット作成委託 500,000	500,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ()		
4	団体運営費からの繰入金		17,405
5	代表個人自己負担		66,650
合 計			584,055
支出の部			
1	消耗品費	・仮止めスプレー、プリンターインク、領収証等 ・段ボールジオラマ作成キット ・防災ジオラマ題材作成材料費	531,074
2	印刷製本費	・当初集客チラシ、延期チラシ、 ・協働、活用団体募集案内ちらし	13,281
3	謝礼・報酬	・イベントスタッフ謝金：3名×3000+1名×5000 ・内水氾濫等危険区域解析：200,000(法人内にて無償) ・水害教室講師(河川工学博士)20,000 ・最大浸水深データ変換委託：250,000(法人内にて無償)	34,000
4	会場借上料・使用料	・クリエイトホール展示室	5,700
5	交通費		
6	通信費		
7	知的財産権	特許庁登録第3234916号、事業費の2割程度 (法人内にて無償、20万円相当)	
合 計			584,055

あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度(2022年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「歴史を刻む技と知恵～匠の世界を探る～宮大工吉川棟梁仕事展」		
団体名	八王子市民史を記録する会		
事業費	1,021,631円	補助金額	500,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>宮大工棟梁の技法と知恵は、時を超えて人々の五感に響きます。その棟梁の知的(美的)探求心、文化的素養、技を伝える職人の育成システムなど文化的かつ社会的な価値は、地域社会にとってかけがえのない資産と考えられます。</p> <p>八王子市は本年1月、「八王子市の歴史文化 百年の計」という歴史文化基本構想をまとめました。さらに、八王子市の歴史文化が日本遺産の認定を受けました。こうした歴史文化の柱の一つが高尾山薬王院であり関東屈指の山車・神輿などの建造物です。宮大工棟梁の傑出した技と知恵がこれらの歴史文化を生み出し、継承していますが、その内容を市民に分かりやすく展示し、八王子市のアイデンティティーの共有化、文化・コミュニティの増進を進めます。</p>
	<p>内容</p> <p>八王子の宮大工吉川棟梁を紹介し、棟梁が手掛けた高尾山薬王院別院などの社寺建築、八王子市指定有形文化財の山車修復、古民家再生など、現代に息づく宮大工棟梁の技と知恵の一端を探る展示会を企画いたしました。この展示会は、200年以上続く宮大工小町家の伝統を受け継ぎ、現代の宮大工棟梁の姿に迫るものです。</p> <p>関連事業として吉川棟梁が再建、修復した寺社、山車の見学会を2021年11月から実施し、既に浅間神社大正殿、八幡町旧1,2丁目山車(八王子市指定文化財)の見学会を実施しました。八幡町山車見学会では横山第2小学校5年生の校外学習としても実施し、約60人の生徒が参加しました。</p>

事業の活動実績	<p>2022年度</p> <p>4月9日 現代仏教美術展(会場：みやこめっせ)にて吉川棟梁作品取材、由谷仏師インタビュー(「5.仏師由谷具忘との出会い」で展示、展示ガイドP.69に収録)</p> <p>5月14日 南町一本柱山車現地見学会(約30人参加)、吉川棟梁解説</p> <p>6月10日～13日 「歴史を刻む技と知恵～匠の世界を探る～宮大工吉川棟梁仕事展」開催 ・来場者約800人</p> <p>6月11日 記念講演「八王子の曳山祭り～祭りを支えてきた庶民の力と匠の技の結い」 講師 相原悦夫先生 約180人参加</p> <p>7月1日～18日 はちはく企画展協力</p> <p>10月5日 第58回八王子市民史の会勉強会「八王子の山車、歴史と伝統の継承を考える～各町会の山車保存復元修理の取り組み～」山車町会関係者約30人参加</p> <p>11月18日 市立横山第二小学校5年生山車見学会(多賀神社) 生徒60人参加</p> <p>12月7日 第59回八王子市民史の会、八王子市史編纂事業資料見学会(旧稲荷山小)</p>
	<p>2023年</p> <p>1月25日 八王子の山車歴史勉強会</p> <p>2月22日 八王子の山車歴史勉強会</p> <p>3月22日 八王子の山車歴史勉強会</p> <p>・屋内の事業については除菌、収容人数の制限順守、マスク着用を実施。屋外の事業はマスク着用を徹底。 ・そのほか、会場管理者の指示に従う。</p>
新型コロナウイルス対策実績	

【活動実績の写真】



事業の成果・効果	<p>6月10日～13日の展示会については、新聞報道もされた中で予想を超える来場者がありました。また、開催期間中に実施した記念講演会にも大勢の参加者があり、日本建築や職人の仕事ぶりへの市民の関心の高さがうかがわれました。</p> <p>こうした意識を地域の歴史文化を次世代に継承していきたいという主催者側のメッセージは、相当程度発信することができたと総括しております。</p> <p>また、開催準備、その後の取り組みを通じて、市民、社寺建築関係者、山車保存町会の皆さん、研究者など大勢の参加者同士のつながりが生まれ、とりわけ若者、子どもたちの参加が得られたことは、今後につながる成果と考えております。</p> <p>2022年度という時間的な区切りに留まらず、八王子の歴史文化、コミュニティづくりにつながる取り組みとして継続していける環境が大きく作られたことが最も重要な成果と考えております。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)					
		効果を表す指標	来場者 800人	本年度目標値	同左	本年度実績値	同左
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="checkbox"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)					
その他、評価すべき点等	事業の活動実績、成果・効果のとおり。						

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>2023年に入り、継続して八王子の歴史・文化、街づくりにかかわる講座を開催し、本年中に成果を冊子としてまとめる予定です。</p>
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	「歴史を刻む技と知恵～匠の世界を探る～宮大工吉川棟梁仕事展」	
団体名	八王子市民史を記録する会	
項目	内容・内訳	決算額(円)
収入の部		
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)	500,000
2	その他助成金収入	
3	事業による収入 ()	
4	団体運営費からの繰入金 市民史の会負担金	266,631
5	協賛金、寄付金 18団体、個人寄付(内訳表あり)	255,000
6		
合 計		1,021,631
支出の部		
1	消耗品費 芳名帳、文具代等(23,780円)展示ガイド用紙、インクカートリッジ(100,627円)、	124,407
2	消耗品/委託料 文具(2,469円)、仮設茶室費(37,125円)	39,594
3	印刷製本費 ポスター・チラシ、展示ガイド印刷製本等 (191,437円)	191,437
4	会場等使用料 ギャラリーホール第1・2使用料(210,000円)、利用機器(20,350円)	230,350
5	展示パネル作成費/委託料 別添明細書のとおり	237,189
6	事前、事後学習費 学習会、R4、6/11、R5、1/25、2/22、3/22(80,000円)	80,000
7	雑費 白布等(2,254円)駐車場代(2,900円)	5,154
8	広告費 はちとび 50、51、52号(75,000円)番匠9号(22,000円)通信 24(16,500円)	113,500
合 計		1,021,631

あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度(2022年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域内での子ども服リユースシステム〔Mottette(もってって)〕の仕組み作り		
団体名	まほうのほうき		
事業費	501,318円	補助金額	250,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>(1) <u>人々の交流を通じて、ものを大事にする心を育む</u> 大切に着ていた洋服を地域の子供たちがリユースし、物を大事にする心を育む。</p> <p>(2) <u>衣服のリユース・リメイクを通じて地域のセーフティネットワークを作る</u> ”衣”のセーフティネットとして、地域で子育てをささえ合う仕組みを構築する。</p> <p>(3) <u>衣服のリユース文化を作り、育て、一層の廃棄物減量を実現する</u> 衣服のリユースを地域文化として育て、市の課題である廃棄物の減量に貢献する。</p>
	<p>内容</p> <p>子安町の子育て応援拠点「Yottette(よってって)」において、「子ども服リユース等事業」 「Mottette(もってって)」を実施・運営する。</p> <p>Mottetteの周知とブランドイメージの向上のため、市内のデザイナーに依頼しロゴ等を作成するとともに、Yottetteのホームページを一部更新し、Mottetteの広報・周知を行う。 リユース品の販売にあたっては、市内高校及び大学等と連携し、子ども服のリユースイベントを行うなど、活動の輪を広げるとともに、将来の担い手の確保と育成を図る。</p>

事業の活動実績	<p>【子ども服リユース品の収集・販売】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動拠点 Yottette 内の設備を一部改修し、子ども服の収納スペースを確保した。 協力団体及び団体 HP での呼びかけにより計 400 着以上のリユース品を収集した。 計 6 回のイベントへの出店により、計 265 着のリユース品を販売した。 <p>【活動の広報・周知・協力依頼】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内のデザイナーにより Mottette のブランドロゴを作成するとともに、団体 HP を更新し、活動のブランドイメージとして活動の周知を図った。 <p>【活動の拡大と担い手の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都立南多摩中等教育学校 SDGs ミーティングボランティアと連携し販売活動を行った。 令和 5 年 2 月 17 日 東京家政学院大学地域交流会に参加し、活動を PR し令和 5 年度以降の連携を検討した。
---------	---

新型コロナウイルス感染症対策実績	<ul style="list-style-type: none"> 本事業に関する作業及びイベント等の実施にあたっては、別添の「まほうのほうき版 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(令和4年3月1日策定)」を遵守し、実施した。 一方で、本事業期間中に感染状況が収束しなかったことを受けて、当初想定した集客を伴うイベントの開催を見直し、地域で各月に開催されている「南口マルシェ」においてリユース品を販売する企画として分散開催し、感染リスクの低減を図ることとした。
------------------	--



子ども服リユース販売の様子



参加した地域交流会チラシ



作成した Mottette のロゴ

事業の成果・効果	<p>○当初想定した効果</p> <p>【 ”衣” のセーフティネット構築 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども服を通じた新たなネットワークにより、地域の安全・安心を形成。 <p>【 新たなリユース文化構築 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ”もったいない” から ”カッコいい” で能動的サーキュラーエコノミーを実現。 ・市の課題である古布の廃棄量を低減し、循環型社会の実現に貢献。 <p>【 地域まちづくりの実現 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口を増やし、新たな協力者を得て、持続的な地域まちづくりが可能に。 <p>【 生活の質的向上 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服に関する生活が質的に向上し、シビックプライドが醸成される。
	<p>○本事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子安町の子育て応援拠点「Yottette」を中心に、子ども服のリユース事業を展開し、南口マルシェにおける6回の販売会等を通じて、延べ240着の子ども服のリユースと400人以上の新たな関係人口を獲得するなど、新たなコミュニティネットワークの構築とともに、廃棄物の減量に寄与した。 ・質の高いブランドイメージの構築により、参加したくなるリユース活動のイメージが形作られ、活動の輪の拡がり新たな担い手の確保が実現した。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)						
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)						
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<table border="1"> <tr> <td>効果を表す指標</td> <td>子ども服リユース等実施数 リユース品売上額 活動参加者(延べ人数)</td> <td>本年度目標値</td> <td>100着 5万円 100人</td> <td>本年度実績値</td> <td>約265着 2.7万円 約400人</td> </tr> </table>	効果を表す指標	子ども服リユース等実施数 リユース品売上額 活動参加者(延べ人数)	本年度目標値	100着 5万円 100人	本年度実績値	約265着 2.7万円 約400人
	効果を表す指標	子ども服リユース等実施数 リユース品売上額 活動参加者(延べ人数)	本年度目標値	100着 5万円 100人	本年度実績値	約265着 2.7万円 約400人		
その他、評価すべき点等	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)							

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後も本補助金や他の支援制度を複数年、計画的に活用することで、本事業を自立し継続できる体制を構築したい。</p> <p>令和4年度は、必要機材等を調達し、事業を安定して継続可能な体制を整えることに重点を置いたが、令和5年度及び6年度は、前年度の結果を分析し、必要に応じて運営の改善を図るとともに、本補助金以外にも他団体の支援制度やクラウドファンディング等や市内企業等の寄付等で担保するなど、継続可能な事業スキームについて検討していきたい。</p>
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	地域内での子ども服リユースシステム[Mottette(もってって)]の仕組み作り		
団体名	まほうのほうき		
項目	内容・内訳	決算額(円)	
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		250,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 ()	リユース服販売	27,200
4	団体運営費からの繰入金		224,118
5			
6			
合 計			501,318
支出の部			
1	消耗品費	フリーマーケット必須品・裁縫道具・コロナウィルス消耗品	158,138
2	印刷製本費		
3	謝礼・報酬		
4	会場借上料・使用料	南口マルシェ参加費	9,000
5	交通費		
6	通信費		
7	役務費	ホームページ・チラシ(Mottette)開設費	275,000
8	備品購入費	ミシン	59,180
9			
10			
合 計			501,318

あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度(2022年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	ペットおよび保護犬猫のためのフードバンク事業		
団体名	アニマルフードサポート八王子		
事業費	700,168 円	補助金額	350,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>ペットフードにおけるフードロスの削減=環境問題の解決とSDGsの実現。生活困窮へのフード支援で、飼育放棄をなくす。生活困窮者の生活福祉に寄与。地域猫対策を推進する市民及び団体を支援することで、地域の環境問題を解決。保健所と協働するボランティア団体への支援は、市の動物行政にかかわる諸問題(多頭飼育崩壊、飼主死亡などによる猫の放棄、遺棄)を解決するための後押しとなる。</p>
	<p>内容</p> <p>アニマル版フードバンク事業。個人、動物病院、販売事業者などから、食べないフードや販売期間間近で店頭には並べられないフードなどを寄付していただき、フードバンク事業を行う。フードの配布先は コロナ失職やその他理由で生活が困窮した方。地域の環境対策として市のガイドラインに沿って地域猫活動をしている市民及びグループ 行政と協働して地域猫対策を推進し、多頭飼育崩壊、飼育放棄など犬猫の保護を行っている団体。</p>

事業の活動実績	<p>フードドライブ(収集)事業</p> <p>4/17、5/15、6/5、6/18、7/3、7/10、8/7、8/14、9/11、10/16 アニコムラボ譲渡会 5/1~5 10/7~11 古本まつり 5/8、7/17、10/9、11/27 保健所駐車場譲渡会 7/2~3 元ハマルシェ 8月、9月、11月 飛田給動物病院譲渡会 10/23 きらら亭コロナからの復活祭 11/19、11/20 いちょう祭り 9/3,9/4,10/29,10/30,12/17,12/18,12/25,1/28,1/29,2/11,2/12,3/11,3/12 カインズホーム 八王子長房店譲渡会 10月~3月の土・日曜日 はちねこカフェフードドライブ 2/16~22 グランデュオ立川 猫の日イベントに参加 18日フードドライブ実施 愛護団体、個人ボラにフード支援(はちねこ、八王子わん・にゃんクラブ、にゃんサポあきる野他)</p> <p>2/11、12 八王子相談ネットワーク「困りごと相談会」にペットフード提供。 八王子市生協経由にて、生活困窮者へのフード支援 地域猫餌やり(高齢・生活困窮)へのフード支援 八王子市福祉部生活自立支援課と生活困窮者へのフード支援について協議</p>
新型コロナウイルス感染症対策	<p>マスク着用、アルコールによる手指の消毒、室内での譲渡会については人数制限を行った。カインズホーム、グランデュオについては、先方の対策に従って実施。</p>



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通してイベントや譲渡会にてフードドライブ（収集）を実施できた。それにより、周知・広報も同時にできた。 ・行政を通じて成猫の保護が増加していることで、愛護団体の飼育費の負担も増えているが、フードバンクから一定の支援ができた。 ・市内ペットフード業者より定期的に期限間近のフードの寄付をいただけるようになった。 ・パンフレットは持ち帰りやすい三つ折りとし、募金箱にセットできる形式をとったことで、秋以降のフードドライブでは、少額ながらコンスタントに募金も頂戴できるようになった。 ・また、ホームページにて収集の予定や配布実績を掲載することで、ホームページ経由でのフード支援のお申込みも毎月一定数あった。 ・八王子相談ネットワークさんの「困りごと相談会」にペットフード支援を行った。ペットフードも支援してもらえるとということ、フードバンク事業者と連携することで周知。フードバンク事業者等からの相談もあり、支援につなげた。 ・八王子市福祉部生活自立支援課と生活困窮者へのフード支援について協議した。高齢者、生活困窮者がペットを飼育しており、飼育困難～放棄、遺棄に達するまで気づかれない現状を説明し、一定の理解をいただいた。ペットへの心配りとフード支援につなげる取り組みをお約束いただいた。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)																
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)																
	効果を表す指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">フード 寄付数</td> <td style="width: 25%;">企業 / 個人</td> <td style="width: 10%;">5 / 50</td> <td style="width: 40%;">4 社 / 120 人以上</td> </tr> <tr> <td>フード 配布数</td> <td></td> <td>月 10 ~ 20</td> <td>本年度 月平均 団体×3、</td> </tr> <tr> <td>常設コッテ設置数</td> <td>本年度 目標値</td> <td>6 か所</td> <td>個人支援×3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6 か所</td> </tr> </table>	フード 寄付数	企業 / 個人	5 / 50	4 社 / 120 人以上	フード 配布数		月 10 ~ 20	本年度 月平均 団体×3、	常設コッテ設置数	本年度 目標値	6 か所	個人支援×3				6 か所
	フード 寄付数	企業 / 個人	5 / 50	4 社 / 120 人以上														
フード 配布数		月 10 ~ 20	本年度 月平均 団体×3、															
常設コッテ設置数	本年度 目標値	6 か所	個人支援×3															
			6 か所															
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ (2) 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 動画作成を取りやめた。理由は、半期までに寄付金が予定通り集まらなかったことと、タウン誌に取り上げてもらったところ反響が大きかったため、広報のやり方を変更したため。																	
その他、評価すべき点等	・全国でも動物のフードバンク事業はほとんど無く、栃木や千葉、神奈川などからもネット検索によって問い合わせがあったことから、本事業が先進的な取り組みであることがわかった。																	

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きイベントや譲渡会でのフードドライブを継続し、保護団体を中心に支援していく。 ・フードバンク事業者、行政との連携を強化する。特に、高齢者支援課へアプローチ。「困っている人」へ届く支援ができるよう取り組む。 ・事業者からのフード寄付の新規開拓に取り組む。 ・常設フードバスケット設置協力店舗、募金箱設置協力店舗の新規開拓に取り組む。
---------	--

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	ペットおよび保護犬猫のためのフードバンク事業		
団体名	アニマルフードサポート八王子		
項目	内容・内訳	決算額(円)	
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		450,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	寄付	200,091
	団体運営費からの繰入金	会費	50,000
4		サポート会員費・繰入金	100,077
5			△ 100,000
合 計			700,168
支出の部			
1	消耗品費		33,038
2	印刷製本費		34,701
3	PR動画作成		
4	謝礼・報酬	1000円×151回(500円×149回の交通費含む)	225,500
5	交通費	別添明細書のとおり	1,940
6	通信費		
7	備品購入費1	PC,プリンター	142,870
8	備品購入費	カーゴプレスタ、コンテナ、のぼり、募金箱、テーブル、マウス	241,569
9	コロナ対策費		
10	会場借上料		20,000
11	手数料		550
合 計			700,168

あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和4年度(2022年度) 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子育て支援はママパパ支援！子育てを地域で支えるための親子の居場所事業		
団体名	一般社団法人親子支援ネットワークたんぼぼの輪		
事業費	733,592円	補助金額	366,000円

事業の目的・内容	<p>【目的】</p> <p>核家族化、地域とのつながりの希薄化、さらに新型コロナウイルス感染拡大により子育て家庭の孤立化が一層進んでいる。社会的には虐待の増加など子どもたちが育つ家庭内の問題が増加し、子育て支援は大変重要な局面を迎えていると思われる。そのような中、不安を持つ親子に寄り添いながら、専門的な支援を行える環境を作り、見守り支えていくことを目的としてこの事業を行う。特に一番身近な存在である母親との関りは子どもの成長に重要な影響を与えられる。母親が安心して育児が出来れば家族は笑顔でいられる。そのような家族が増えていくことを目指し、将来社会を担う子ども達の健全な成長と発達を促したい。</p> <p>また特別な支援が必要と思われるケースについては、行政と連携するとともに関係機関への橋渡しを行うなどネットワークを生かした支援を行う。</p>
	<p>内容</p> <p>1. 育児支援イベントや相談スペースの定期的開催</p> <p>2. 家計応援相談会の定期的な開催</p>

事業の活動実績	1. 育児支援イベントや相談スペースの定期開催									
		おさんぼ・ちゃがちゃひろば	おんがく隊イベント	月1ワクワク	たんぼぼひろば	わたげFES	子育てトーク	親子コンサート	おもちゃひろば	合計
	回数	14回	3回	10回 (中止1回)	48回 (中止3回)	2回	1回	2回	6回	86回
	延べ人数	110人	35人	93人	502人	142人	9人	253人	140人	1,284人
新型コロナウイルス感染症対策実績	2. 家計応援相談 12回開催									
	<p>開催時は、会場の消毒と換気をし、参加者には手指消毒と体温測定、ご家族を含めた健康チェックを名簿に記入した。</p> <p>感染状況に応じて対策を行ってきたが、情勢も少しずつ普通の生活に戻していく傾向があり過度な感染対策とならないよう心掛けた。</p> <p>イベント参加者からの新型コロナウイルス感染の報告はみられなかった。</p>									



事業の成果・効果	<p>【参加者の感想】(一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日のたんぼひろばをよく利用しています。ひまわりハウスはママのためにスタッフの方々が居心地の良い場所を作ってくれていて、安心して過ごせる場所だと感じています。自分が安心しているのが子ども達にも伝わるのか、子ども達にとっても居心地がよく頻回に利用しています。困っていることや心配事を相談できるだけでなく、うれしいこと、楽しいこともみんなに共有してもらい、子育てを楽しむこともできています。 ・毎週決まった時間にママと子どもの時間があるということが、とても心強いです。ここに行けば誰かいてくれて話を聞いてくれる、でも気負わなくてよい。そんな場所がたんぼひろばです。このご時世おやつやご飯をみんなで食べられるのも大きな魅力です。絶対なくさないでください。 ・子連れで行けるコンサートはなかなか無いのでとてもありがたいです。子供向けの曲だけでなく大人も楽しめる曲があったり、子ども達が実際に楽器を持って参加できる曲があったりととても内容が充実して楽しいです。幼少期に生の音楽にふれる機会を与えて頂き感謝しています。 ・心に響く音楽に触れることができ、親子、友人達と楽しませてもらっています。プロの音楽家の演奏に心震える体験ができて、参加後はまた頑張るって日々を過ごそう！と思わせてくれます。これからも親子で参加させてもらいたいです。 ・おもちゃひろばは、普段なかなか手に取って遊ぶことができないおもちゃがたくさんあって子どもだけでなく大人も楽しめるので毎回楽しみにしています。 ・わたげ FES は、夏には水遊びや屋台あそびが出来たり、フリーマーケットでお得に子供服が手に入ったりミニコンサートがあったり盛沢山でいつも楽しませてもらっています。色々な世代の子ども達と遊べるのも楽しいです。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた (応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた)	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している
	その他、評価すべき点等	ママやパパが主体となるイベントを2年間続けてきたことによって社会福祉協議会の援助を受けママサロンを2か所で立ち上げることができた。 また毎週実施しているたんぼひろばは、年々利用者数が増えており子育て家庭に周知することができた。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>子育て支援は一時的な補助金でカバーできるものではなく、継続していくための資金面では課題が残っている。一方で、今回の補助金事業を通して支援を受ける側であったママやパパの中からそれぞれの得意を生かせるような場を作ることができ、これについては今後も継続していきたい。</p> <p>今後も行政や他の様々な支援団体と連携を図りながら活動の充実を図っていききたいと思う。</p>
---------	---

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	子育て支援はママパパ支援！子育てを地域で支えるための親子の居場所事業		
団体名	一般社団法人親子支援ネットワークたんぽぽの輪		
項目	内容・内訳	決算額(円)	
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		500,000
2	事業による収入	利用者負担(利用料、参加費)、寄付金等	314,070
3	団体運営費からの繰入金		△ 80,478
4			
5			
6			
合 計			733,592
支出の部			
1	謝金・報酬	支援者謝金(1000円、2000円、3000円)、コンサート出演料	585,000
2	消耗品・材料費	事務用品費、材料費等	68,599
3	通信費	郵便料金等	770
4	広告宣伝費	チラシ作成費、印刷費	16,244
5	会場費	学園都市センターホール、北野市民センターホール等	49,850
6	衛生費	消毒、使い捨てクロス、ゴミ袋等	4,648
7	著作権使用料	演奏使用料	8,481
8			
9			
10			
合 計			733,592

あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

5 交付団体連絡先一覧

区分	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
A 活動 支援 部門	虹色食堂	後藤 由里子	後藤 由里子	八王子市旭町	090-3536-7187
	コミュニティベンチまちづくり802	山川 正泰	山川 正泰	八王子市めじろ台	090-2624-5219
	Matsugaya Culture Space (松が谷カルチャースペース)	幅崎 麻紀子	幅崎 麻紀子	八王子市松が谷	080-1893-7420
	特定非営利活動法人 ミツパチラボ	濱 大育	内田 哲史	日野市落川	080-3433-9989
	一般社団法人 壱拾百千万の会	深津 孝雄	川井 典子	八王子市狭間町	090-2001-9798
	つつじヶ丘自治会グリーンチーム	飯田 勝	阿部 征夫	八王子市横川町	090-8811-1807
	西武北野台子ども文庫	大橋 道代	大橋 道代	八王子市北野台	042-636-7769
B 事業 実施 部門	NPO法人防災・災害ボランティア かわせみ	谷岡 康	谷岡 康	八王子市石川町	090-3905-0443
	八王子市民史を記録する会	澤本 宣男	藤岡 一昭	八王子市元本郷町	090-7196-1428
	まほうのほうき	沼崎 道子	沼崎 道子	八王子市子安町	080-1086-9485
	アニマルフードサポート八王子	佐々木 与志美	佐々木 与志美	八王子市散田町	090-6119-4050
	一般社団法人親子支援ネットワーク たんぼぼの輪	河野 朋子	金杉 知美	八王子市みなみ野	090-7900-2159

令和4年度(2022年度)交付 市民企画事業補助金 成果報告書



令和5年(2023年)8月発行

発行 八王子市
編集 市民活動推進部協働推進課

所在 〒192 - 8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話 042 - 620 - 7401 FAX 042 - 626 - 0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>
